

## 農業委員会だより

発行・編集：町田市農業委員会・農業委員会だより編集委員会  
町田市森野2-2-22 Tel：042-724-2169

## 新年を迎えて ～町田市農業委員会会長 横田竜雄～

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、町田市農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、記録的な猛暑や豪雨など異常気象が続き、さらに燃料や肥料・飼料・資材の高騰も重なり農業経営にたいへん厳しい一年でした。そのような中であっても皆様は様々な工夫と努力で地域の農業を守り、安定して農産物を供給していただきました。そのご尽力に心より敬意を表します。



国においては令和6年に『食料・農業・農村基本法』が25年ぶりに改正され、令和7年4月には新たな『基本計画』が閣議決定されました。改正での柱は、食糧安全保障の強化と持続可能な農業の確立であり、その実現には地域の実情に応じた農地の確保と有効活用が欠かせません。

町田市でも、市街化調整区域の農地を対象として『地域計画』を策定いたしました。ご協力いただきました市街化調整区域の農地をお持ちの農家の皆様には、心より感謝申し上げます。

この『地域計画』は、それぞれの農地を将来、誰が耕作するのかをあらかじめ決めておく仕組みです。ご自身や後継者が耕作を続けるのか、あるいは自らも高齢化し後継者がいない場合には、誰かに賃借して農地を維持していくのかを事前に話し合い、明確にしておくものです。

この取り組みにより、地域全体で農地も守り、耕作が途切れない体制を作っていくことが期待されています。認定農業者や新規就農者による農地の有効活用を進めるとともに。親元就農を支援し、次の世代が安心して農業をつなげる環境を整えることが町田の農地を守るために何よりも重要だと考えます。

農業委員会としても、農地の保全と賃借の円滑化、そして若い担い手が地域に根づく仕組みづくりに力を尽くしてまいります。

## 町田市の農業功労者表彰を受けました！



公益財団法人内田農業振興会の令和7年度農業功労者表彰事業で、大蔵町で野菜を生産している、中溝章雄様が『緑綬功労章』を受章されました。

中溝様は、JA 町田市野菜部会や町田市農業委員会（2003年から2009年）でも活躍されています。

『農業功労者表彰』とは、農業の発展または振興に功労のあった方へ、公益財団法人内田農業振興会が表彰を行うものです。

長年のご功績に対する、栄えあるご受章、大変おめでとうございます。

## 第52回町田市農業祭が開催されました！



縄ない体験の様子

昨年11月8日（土）・9日（日）の2日間、町田シバヒロで農業祭が開催されました。当日は肌寒い天候でしたが、多くの来場者にお越しいただきました。農業委員会ブースでは、稲わらでの正月飾り作り体験と縄ない体験会を行いました。今年度は新たに農業委員になられた委員も多く、わら細工指導が初めての委員もおりましたが、事前に練習を重ね技術を伝授し合い、市民の方々に楽しんでいただけるよう指導にあたりました。使用した稲わらは、米作り農業体験で市民のみなさんと育てた稲です。

また、会場では、野菜・植木の品評会の出展物や、まち☆ベジグルメ店等による飲食の出店、野菜・花などの即売会もあり、来場者は笑顔が絶えない様子でした。農業祭前日の農産物品評会では、今年度の表彰者が下記のとおりに決まりました。表彰式はJA町田市本店にて1月19日（月）に予定しています。



野菜品評会の様子

### ◆第52回町田市農業祭 主な受賞者は下記のとおりです

2025年度主な特別賞	農産物品評会 (野菜・植木)	営農技術競技会・畜産共進会
東京都知事賞	廣瀬 昌則 (ハクサイ) 横田 直紀 (ソゴゴ)	森 和幸 (露地トマト)
町田市長賞	河原 文彦 (カキ) 横田 直紀 (アオダモ)	中溝 章雄 (ハウストマト) 北島 隆 (乳牛共進会)
町田市議会議長賞	廣瀬 昌則 (ダイコン) 横田 直紀 (カナリーヤシ)	佐藤 元泰 (ナス)
町田市農業委員会会長賞	原 昌徳 (サトイモ) 浅沼 稔 (常緑ヤマボウシ)	井上 孝男 (キュウリ)
町田市農業協同組合 組合長賞	原 義浩 (カブ) 佐藤 駿 (キュウリ) 榎本 桂央 (アセビ)	



農業委員会ブースでの縄ない機の展示

## 都市農政議員懇談会視察研修を実施しました！



吉岡節子さん 農場



渡邊恒雄さん 農場



廣瀬康久さん 農場



成瀬高校町田活性化プロジェクト

昨年10月3日に都市農政議員懇談会視察研修を実施しました。この研修は、町田市議会議員の皆様にも町田市の農業の現状や課題を伝えるとともに、新しい制度を活用した取り組みを行っている事例等を視察していただくもので、他市ではない珍しい農業委員会活動の一つです。市議会議員25名の皆様にご参加いただきました。

今年度は、市街化調整区域の農地を貸借して営農している新規就農者2名の方、親元就農1名の方の農場を視察しました。視察した後、東京都立成瀬高校町田活性化プロジェクトの生徒の皆さんの「人のつながりと地域活性化」の講演をしていただきました。議員の皆様からも多数の質問もあり、活発な意見交換が行われました。

## 米作り農業体験～稲刈り・収穫祭～



稲刈りの様子



掛け干しの様子



脱穀の様子



薪でもち米をふかしている様子



お餅つき

昨年の夏は平均気温を大きく上回る猛暑となりましたが、春に植えた苗は順調に生育し、9月20日（土）に米づくり農業体験に参加された市民の皆様と、無事に稲刈りを終えることができました。稲刈りは鎌を使って中腰で行う大変な作業で、ぬかるんだ田に足をとられ、泥だらけになりながらも皆さん一生懸命に作業をしてくださいました。刈り取った稲は乾燥させ、脱穀、粳摺り、精米の工程を経て白くて美味しいお米になりました。前回よりたくさんのお米が収穫できました。11月23日（日）に開催されました収穫祭では、収穫したお米を使用し、杵と臼を使って餅をつき、押し餅にする体験をしてもらいました。また、農業委員さんが育てた野菜の詰め合わせを、お手製の竿で釣る野菜釣りのゲームをしたり、楽しいひと時を過ごしました。参加された市民の方々が、嬉しそうに自分たちで育てたお米で作ったお餅を持ち帰る姿を見て、米作り農業体験の活動が有意義なものであったと実感いたしました。活動を通して食の大切さをご理解いただけたのではないのでしょうか。

## わら細工作りを市内の小学校で行いました

昨年12月2日に、小山田・小山田南小学校の5年生、計110名を対象に、米作り農業体験で刈り取った稲わらを使い、わら細工教室を行いました。子どもたちと「正月飾り作り」や「わら縄作り」を体験することを通して、生活に身近なお米作りの大切さに触れるとともに、収穫後のわらを有効活用してきた日本の伝統文化について学んでもらいました。子どもたちは出来たわら細工を、お友達とお互いに見せ合ったり、上手に縄を長く編んで長さを競ったり、楽しんで取り組んでいました。毎日の食事の中では食べ物がつくられている現場を想像しにくいものですが、こうした活動を通して、子どもたちに農業を身近に感じてもらえたらと思います。



完成したわら細工



小学生の皆さんにご挨拶



正月飾り作りの様子



わら縄作りの様子

# 生産緑地追加指定 事前募集について

事前募集期間：2026年1月5日（月）～ 1月30日（金）まで

（正午から午後1時と土・日・祝日を除く）（期間厳守）

【お問い合わせ】 町田市役所 9階 905 農業振興課 電話：042-724-2166

## 職務代理・部会長研究集会に行ってきました

住宅地での施設栽培



昨年9月に行われた、調布市の農業の現状についての研修会に参加しました。

住宅地に囲まれた都市農業ならではの課題や、これからの農のある地域作りの取り組みについての説明があり、実際の宅地内にある農地の視察と田畑を利用した市民農園の利用状況の視察を行いました。

田んぼを利用した体験農業



### 生産緑地を耕作することにお悩みの方へ

健康に不安のある方やご高齢の方など、生産緑地としての管理ができなくてお困りの方はいませんか？ 都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、生産緑地の貸借が出来るようになり、契約期間経過後に農地が返ってくるため安心して農地を貸すことが出来るようになりました。また、相続税納税猶予制度の適用農地でも貸すことが可能です。

詳しくは農業委員会事務局までお問合せください。

◎問い合わせ先 農業委員会事務局

TEL 042-724-2169

### ご実家が農家の方でも応募できます！

#### ●農業研修生募集！！

町田市では、新たに農業経営を目指す方など、「自ら耕作できる技術及び経営に必要な知識を持った人材」の育成を目的とした2年間の農業研修を行っています。農業を基礎から学べるため、町市内で新たに農業経営を目指す方、町市内に土地を所有する農業後継者の方、援農ボランティアを希望する方も、ぜひご応募ください。募集の詳細は1月の広報まちだやホームページをご覧ください。

◎問い合わせ先 農業振興課 TEL 042-724-2166

## 農業委員会事務局からお知らせ

#### ●農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は加入者・受給者数に左右されにくい積立方式での公的年金です。ご興味がある方はぜひ、農業委員会事務局までご連絡ください。

#### ●全国農業新聞を読みませんか？

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である、全国農業会議所が発行する農業総合専門紙です。

★購読料 月700円 ★発行日 毎週金曜日

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は岩手県大船渡市の林野火災からはじまり全国各地で林野火災が発生し山林の管理についても考えさせられる年となりました。多摩地域でも記録的な猛暑となり農家の皆様には秋冬野菜の作付けには大変ご苦労されたことと思います。さて、当地域でも農業者の高齢化が進み農業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。私たち農業委員会では広報誌を通して最新の情報を提供し、様々な課題解決に協力したいと思います。ご協力よろしくお願ひします。今年が皆様にとって実り多き一年になりますようお祈りいたします。

【編集委員長】 臼井 【編集副委員長】 森 【編集委員】 横田、土方、蛭田、平本、廣瀬  
農業委員会事務局 TEL 042-724-2169 経済観光部農業振興課 TEL 042-724-2166